

オーベルジュ オーフ(石川県小松市)

作成時点：令和7年5月

学校

宿泊施設

基本情報



写真出所：小松市

位置図

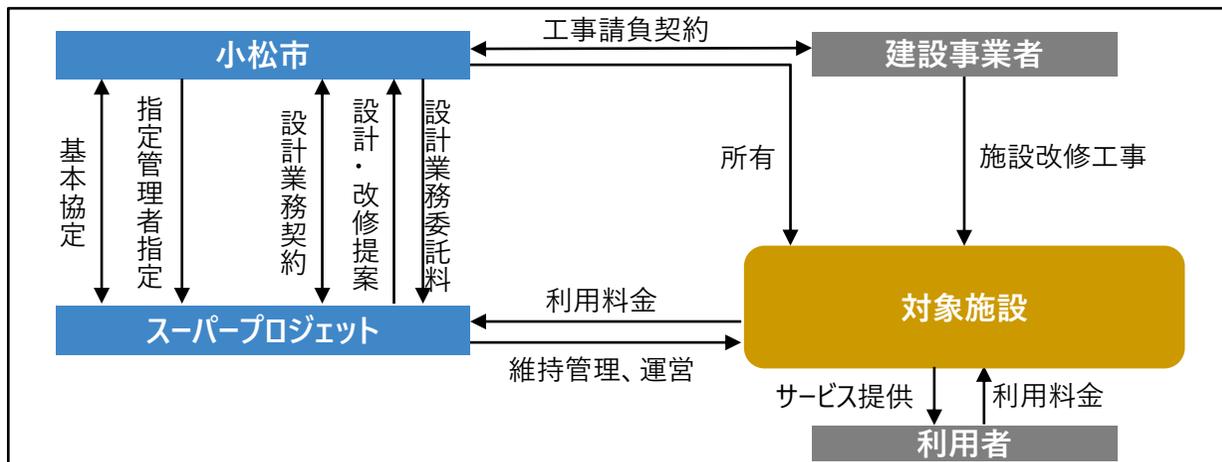
石川県小松市観音下町048



出所：地理院地図を引用

事業主体	石川県小松市（人口：105,878人 ※令和7年5月現在）
事業手法	指定管理、DO方式
民間事業者の業務内容	・施設改修の設計・工事監理業務 ・宿泊施設・レストラン・カフェ・レンタルスペース等の管理・運営業務
事業期間	10年間（令和3年3月～令和13年3月）
事業費等	・設計業務委託料 約31百万円 ・施設改修工事費 約560百万円 ※内工事監理業務 約12百万円 【うち行政負担：約265百万円】
活用した補助金	・空き家対策総合支援事業 約265百万円
事業者	スーパープロジェクト株式会社（市外企業）
事業経緯	・令和元年5月 基本構想策定 ・令和元年8月 公募開始 ・令和元年9月 事業者選定 ・令和2年8月 施設改修工事開始 ・令和3年3月 指定管理者指定 ・令和4年7月 開業

事業スキーム図



掲載内容
に関する
問合せ先

小松市 農山村創生室
TEL：0761-24-8078
Email：sanson@city.komatsu.lg.jp

オーベルジュ オーフ(石川県小松市)

作成時点：令和7年5月

旧西尾小学校跡地活用事業

学校

▶ 宿泊施設

検討経緯

- 西尾小学校の跡地の有効活用を検討するために、学識経験者や地元代表者から構成される小松市小学校跡地活用検討委員会が設立され、地域の防災拠点などの従来の機能を維持しつつ、「学び・食・農体験ができる里山の活動拠点施設」とすることが基本構想として取りまとめられた。
- 基本構想に沿った事業展開をできる事業者を選定するために、公募型プロポーザル方式で公募が実施された。

取組のポイント

- 利用料金を民間事業者の提案を踏まえて設定することで、収益性に配慮した条例制定が実現した。
- 設計・工事監理・管理運営を選定事業者の業務範囲とし、建設は別業者に発注するDO方式を導入することで、地域企業に建設を委託することが可能となった。
- 建設費の上限額を応募要項にあらかじめ明記し、市として負担可能な金額を上回るような設計の提案とならないようにした。

得られた効果

- 金沢大学での廃校活用ワークショップでの利用や、国際ビジネス学院の美食体験合宿など、県内大学生の地域学習の場としての活用実績があり、周辺の自然、食、文化などからの体験を通じた都市との交流促進と里山地域の活性化が図られている。
- 地元小学生への食育授業を展開しており、基本構想の実現に寄与している。

■ 利活用前



■ 利活用後



写真出所：小松市、スーパープロジェクト株式会社